



参院議員
紙智子さん奮闘②

安倍政権退陣、野党共闘と日本共産党の前進を



市田副委員長

達増知事、戸羽市長からもメッセージ

市田氏は、「参院選は比例で850万票、15%以上を獲得し、紙さんはじめ比例候補7名の全員当選を」と訴えました。その中で、紙参院議員が、国会で安倍首相を、「TPPや農林水産問題の第1人者、TPPが来たら農家に春は来ない」と鋭く追及したことを紹介し、来年の選挙の勝利を訴えました。また、米朝首脳会談について、日本共産党が、各国にも安倍首相にも圧力一辺倒ではなく、平和的対話を要請してきたとし、大きく情勢が動いたと力説。野党政権をつくる新しい時代。日本共産党への支持と入党をよびかけました。

陸前たかた民報

日本共産党陸前高田市委員会

2018年6月15日 第448号 高田町字西和野24-1 ☎55-5512

✉ jcpTakata@yahoo.co.jp ※日本共産党の活動をお知らせします。

森友・加計疑惑の真相究明を
一千人の聴衆を前に
六月一日、盛岡市キャラホールで、来年の参院選と地方選の躍進に向け演説会を開催、会場あふれる千人以上が参加しました。達増知事や戸羽市長のメッセージも紹介され、紙参院議員と市田副委員長が、国政と農林漁業の問題で演説しました。

6月議会の報告①

伊勢純議員と大坪涼子議員の一般質問から紹介します。



伊勢純議員

伊勢議員「貝毒被害へ市の支援を」 水産課長「検査に市補助、前向き協議」

伊勢議員は、ホタテやホヤが貝毒被害により出荷停止が続く問題を取り上げました。そして、貝毒検査で生じている漁業者の自己負担に対し、市の支援を求めました。

菅野水産課長は、出荷できない漁業者の困難にふれ、市は生食用カキのノロウイルスなどの検査に補助を行っているが、貝毒検査も補助実現に向けて広田湾漁協と前向きに協議すると答えました。

貝毒被害へ特定養殖共済の適用可能

また、菅野水産課長は貝毒による水揚げ高の減少には、特定養殖共済で契約内容に応じ減収分が補てんされることを明らかにしました。

伊勢議員は、「大切な情報だ。漁業者が安心するように漁協と共にお知らせを進めてほしい」と提案しました。

ワカメ養殖の冷凍庫設備支援にも前向き

伊勢議員は、ワカメ芯抜き作業の人手不足の課題解決に大型冷凍庫の設置支援を提案。

菅野水産課長は、設置を希望する生産者の把握を含め、広田湾漁協と協議しながら前向きに検討すると答えました。



大坪涼子議員

大坪議員「子どもアンケート生かし、子育ての課題解決を」 戸羽市長「早い対応と対策指針の策定へ」

大坪議員は、市内で子育てにがんばっている保護者の悩みや課題について質問しました。

本市の「子どもの生活アンケート」は、県内被災市町村で初めて取り組まれた調査です。

全国の貧困率を上回る結果に 中学生世帯17%、小学生世帯16%

大坪議員は、本市の子どもの世帯の貧困率から明らかになったことは何かと質問。

戸羽市長は、「国の貧困線122万円を下回った世帯は、中学生世帯で約17%、小学生世帯で約16%、未就学児世帯で約10%となり、中学生、小学生の子どもを持つ世帯で、全国の子どもの貧困率を上回る結果。その中でより困難度の高い世帯の傾向として、非正規雇用が50%を超える就労状況の母子家庭の割合が多いことがわかった。また、過去1年間、必要な食料が買えなかったと答えた人が全対象の約20%、必要な衣服が買えなかったと答えた人は、小学生保護者で約40%となり、衣食について困窮している」と示しました。

戸羽市長「なりたい職業がある中学生は7割。たのもしく感じた。」

大坪議員は中学生向け調査結果の受け止めをたずね、戸羽市長は、中学生は「なりたい職業がある」などの前向きな回答が約7割で、震災や家庭の経済状況の影響を受けながらも、たくましく成長し、頼もしく感じたと言いました。

大坪議員、アンケートを生かした対策を求める

大坪議員は、このアンケート結果を今後どのように生かしていくのかと質問。

戸羽市長は、「今後、市内の子どもの将来が、貧困により閉ざされたり、世代を超えて連鎖したりすることがないように、子どもの貧困対策を講ずる必要があり、庁内及び関係機関等と協議を行って、子どもの貧困対策指針を策定する予定。また、すぐ対応が可能な施策については早期に取り組む」と答えました。